

## 1 研究題目

Barthel Index(BI)の予後予測指標としての有用性に関する後ろ向き研究

## 2 研究の対象

当院で死亡したがん患者

## 3 研究目的

当院で死亡したがん患者を対象に、患者背景(性別、年齢、がん腫など)などを含む臨床情報について検討する。

本研究は既存情報のみを用いる後ろ向きの観察研究で、新たなデータは取得しない。BIの生命予後期間(3ヶ月)の予測指標としての有用性に関する検討を行う。調査情報はパスワード等で制御されたコンピュータ等に厳重に管理する。なお、本研究は福山大学薬学部と共同研究を行い、それらの情報は他の機関へ提供することはない。研究結果は個人を特定できない形で関連の学会へ発表及び学術雑誌へ論文にて発表する予定である。

## 4 研究期間

研究倫理委員会承認後～2030年12月31日

## 5 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景(性別、年齢、がん腫など)などを含む臨床情報及びBI(Barthel Index)の項目、予後予測指標

## 6 研究責任者

薬剤師 岡崎 和子